



これからいっしょの町を守ります
南越前消防団 優良消防団(表彰旗)受賞

第66回日本消防協会定例表彰式において、南越前消防団に優良消防団(表彰旗)が授与され、3月19日に谷口団長らが川野町長へ受賞の報告に訪れました。

この表彰旗は、全国2,000以上の消防団の中から、高い消防技術を有し日ごろから消防使命の達成に努める団体に授与されるもので、今回の表彰では福井県で唯一、南越前消防団が受賞しました。

町長は「日ごろの活動が認められたことは、大変嬉しいことです。安全安心な町づくりのために、これからも力を合わせて消防活動に取り組んでください」と話しました。



薄紫色のきれいな姿が一面に広がりました
カタクリの花と今庄宿

3月下旬から4月中旬にかけて、藤倉山登山口にある新羅神社境内および周辺の宿場街道を会場に、カタクリの花と今庄宿が開催され大勢の人が訪れました。

今年はいくつもの被書などで、例年よりカタクリの花がやや少なめとなりましたが、凛とした鮮やかな姿が、観光客らの目を惹かせていました。期間中の土・日曜日には、今庄観光協会アンテナショップがオープンし、焼き鯖や鯖寿司、ぜんざいなど今庄観光協会の会員の手作り商品が販売され、観光客は、宿場町のたたずまいが残る今庄宿を散策し、陽気な春の一日を過ごしていました。



しっかりと安全確認!
南条中学校交通安全教室

4月10日、南条中学校で1年生を対象に交通安全教室が行われました。

町交通指導員から交通ルールや自転車の安全な乗り方、走行マナーなどの説明を聞いた後、中学校からJR南条駅までのコースを自転車で実践を行いました。南条中学校は交通量の多い国道365号に面していることから、生徒たちは、信号や左右の安全を一つひとつ丁寧に確認していました。

交通指導員から「毎日が交通安全教室だと思って自転車に乗ること」「休日など気が抜けた時に事故が起こりやすいので、気をつけるように」と話を聞いた生徒らは、改めて交通安全の意識を高めていました。



元気に大きくなってね
稚アユの放流

4月16日、日野川漁業協同組合今庄支所裏の日野川において、稚アユの初放流が行われました。これは、日野川漁業協同組合が子どもたちに魚と川に親しんでもらおうと企画したもので、今庄なないろこども園の園児が放流を体験しました。組合の方から説明を受けた園児たちは、さっそく稚アユを入れたバケツを持って川に入ると「元気に大きくなってね」と声を弾ませながら、静かに放流しました。放たれた稚アユは、6月末からの鮎釣りシーズンに向け体長20センチほどに育つそうです。

ふるさと納税制度による寄付状況 (平成26年3月31日現在)

【平成25年度 寄付件数と寄付金額】

期 間	件数	金 額
平成25年4月～平成26年3月	35件	940,469円
	2件	70,000円
総 計	37件	1,010,469円

(総計37件のうち県外在住者から12件、県内在住者から25件ご寄付をいただきました)

平成25年度は、多くの方にふるさと納税制度が周知され、ご理解をいただきました。人口減少、少子高齢化が進む状況に対する施策に活用させていただきました。

【平成20年度から平成24年度までの寄付状況】

期 間	件 数	金 額
平成20年度	10件	515,000円
平成21年度	13件	895,000円
平成22年度	4件	380,000円
平成23年度	13件	658,000円
平成24年度	10件	563,000円

問合せ 企画財政課 ☎47-8013 kizai@town.minamiechizen.lg.jp

【応援メッセージの紹介】

- 南越前町の発展を支援いたします。
- 南越前町を応援いたします。
- 今後もふるさと河野を応援いたします。
- いつもお世話になっておりますので、些少ながら感謝の気持ちだけです。
- 山々が大好きです。年に何回か里山ハイキングを楽しんでいます。

【寄付者への特産品】

平成25年度に1万円以上をご寄付いただきました皆様には、南越前町の特産品を発送させていただきました。



南越前町へのご支援、誠にありがとうございます



新生活のスタート
南越前町立小学校入学式

4月7日、町内の各小学校で入学式が行われ、新入生82人が新生活をスタートさせました。

南条小学校にて行われた入学式では、6年生に手をひかれた新入生が音楽にあわせ入場。一人ひとりが順番に名前を呼ばれると「はい」と大きな声で返事をし、元氣よく起立しました。児童代表より「わからないことがあったら何でも聞いて、私たちと一緒に楽しく過ごしましょう」と歓迎の言葉が送られた後、全校児童で校歌を斉唱し歓迎しました。教室では新しい教科書が配られ、これから始まる小学校生活に期待を膨らませています。



自分らしく生きるために
男と女のつどい

4月6日、南条文化会館で男と女のつどいが開催され、約200人が集まりました。これは、男女が助け合い、あらゆる分野でお互いを生かし合い、優しい男と女のまちを目標と、教育委員会と南越前町男女ネットワーク、南越前町男女共同参画推進員が開きました。

「極道の妻たち」「四国八十八力所つなぎ遍路」などを著した作家の家田荘子さんによる講演が行われ、家田さん自身の経験とたくさん現場の声を交えた内容に対し参加者は、男女共同参画について理解を深め、新しい一歩を踏み出す力となりました。